

令和3年7月定例記者会見要旨

開催日時 令和3年7月21日（水）午前10時30分 302会議室

（市長あいさつ）

皆さん、日頃からありがとうございます。梅雨が明けましたら急に暑い日々となりました。また、新型コロナウイルス感染症についても、一時よりは落ち着いていますけれども、諏訪管内でもぽつぽつと感染者が発表されておりまして、まだ安心できる状況とは言えませんので、マスクの着用など感染対策へのご協力をよろしくお願いします。

（8月の日程説明等）

- 第73回諏訪湖祭湖上花火 Two Weeks 8月1日（日）～15日（日） 諏訪湖畔
- 市制施行80周年記念式典 8月10日（火）文化センター
- 東京2020パラリンピック聖火フェスティバル 8月13日（金）すわっチャオ
- 諏訪市地震総合防災訓練 8月29日（日）諏訪市役所・四賀小学校
- 諏訪市議会定例会招集日 8月31日（火）
- 教育委員会関係8月行事予定表

記者との質疑応答

○市制施行80周年記念式典について

（記者）市制施行80周年記念式典について、新型コロナウイルス感染症の影響により当初から変わったことがあるか。

（市長）コロナの状況により変更はあり得ると思っておりますが、詳細は総務部長から説明します。

（総務部長）80周年記念式典は、既に企画の段階からコロナにどのように対応するか考えておりました。最終的に6月下旬には招待状を出さなければならない関係で、一つは、いつもご案内している姉妹都市等につきましては、県外からとなるため今回は招待しておりません。また、会場の文化センターの人数ですが、マックス300人程度ということで、前回（10年前）はそれを超える人数でしたが、今回は人数を絞らせていただいています。また、式典の時間ですが、前は2時間かかりましたが、今回は内容等を精査して1時間半程度に短縮するなどの工夫をしております。

（記者）招待者のうち、市内中学生と新成人の詳細は。

（総務部長）中学生は、市内4校から各2名ずつ招待します。新成人につきましては、成人式開催にかかる実行委員会として関わってくださった方で、市内・圏域にいらっしゃる方に案内を出しております。全体で200名程にご案内状を出し、昨日がメット切となっておりますが、150名程の方から出席の回答をいただいております。

○諏訪湖の花火について

(記者) 改めて諏訪湖の花火への市長の思いは。

(市長) 昨年、コロナで断腸の思いで花火大会を中止いたしました。その間、市民の皆さんや地域内外の皆さん、また、議会の本会議でも花火をどうするんだというご質問をいただく中で、やはり諏訪の花火は全国ブランドになっておりますので、規模の大小に関わらず、しかし、諏訪湖の花火ファンの皆さんの心に沁みこむ花火を上げたいと申し上げてまいりました。残念ながら新型コロナウイルス感染症の状況が以前のような沢山の人を集める環境に今現在ないという中で、それでも密を避けたり、感染を防止する方法はないかと、担当課、関係者が知恵を絞った結果、毎晩 10 分の花火を上げる形に決定しました。サマーナイト花火は、毎年、観光協会・旅館組合が主催する花火ですが、こちらの方は短い時間で毎日上げていた花火ですので、35 日間、諏訪湖では少しずつ毎晩花火が上がるということになりました。全国では沢山の花火大会が中止という選択をされています。そうした中で夏の花火を感じることでできる場所としてこの諏訪湖があるということは、諏訪地域の花火の存在感を知っていただくひとつの機会になろうかと思えます。一方で感染を拡大しないということが我々に課せられているテーマですので、会場におきましては、分散を促す警備の人員を配置しますとともに、会場内にスピーカーも設置し、皆さんにご協力をお願いして安全に花火を上げていきたいと思えます。何卒、ご理解、ご協力をお願いします。

○新型コロナワクチン接種について

(記者) ワクチン接種率の分母の総人口とは、どのような数字で、何人か。

(健康福祉部長) 接種率の出し方は色々ですが、当市では、毎月人口異動調査(令和 3 年 4 月 1 日現在)に基づく市の総人口を分母としました。数は 48,005 人です。基礎疾患のある方への接種が始まっており、これから 64 歳以下の接種も始まりますので、全体に対する接種率を示していくフェーズに入っていると考えております。

(記者) ファイザー社のワクチンの供給量減による諏訪市の接種計画への具体的な影響は。

(市長) 予約は取ったけれども接種できなかったということがないように調整させていただきました。自治体の集団接種会場または一般、職域、団体接種などの選択は個人の選択となりますが、それら合わせて最終的に 11 月末には希望する皆さんの接種が終わると、そのような体制で、国、県、自治体などが揃って目標に向かって進みましょうということです。

(記者) 接種のスピードの変化は。

(健康福祉部長) 国は 6 月、7 月のはじめ頃は、1 日 100 万回ということをしていました。実際に各自治体の接種体制が整っていく中で、それをはるかに超えるペースになり、ワクチンの供給と接種スピードのバランスが崩れてしまっているのを、

各自治体には最適なスピードをもって計画的に接種を進めて下さいという状況です。諏訪市としては、若干ブレーキは掛けながらになりますが、なるべく影響が出ない範囲で調整をしながら 11 月末までの接種完了に向け進めていきたいと思っています。

(記者) 接種体制の整備にかなりご苦労されてきたと思うが、今回ワクチン供給量が減ってくることに對する市長の受け止めは。

(市長) 当初の段取りからは変更がありましたので、一時混乱したところもありますけれども、国民の皆さんにいかに早く接種できるかは共通の目標です。集団接種会場、一般接種会場とも受入体制をきちっと用意しておくことが大事と思っております。市内 23 診療所のドクターたちもご協力いただいて体制を組んでいただきましたので、ワクチン供給量に合わせて、皆さんからのご予約、対応をスムーズにできるように整えてまいります。

(健康福祉部長) 供給量が不透明なときに団体によっては予約を全部止めたところもあったと思います。諏訪市については、国・県等の情報を集める中で、なるべく予約は止めずに、見込める範囲で予約をとっていこうということで進めています。あわせて予約時の混乱を避けるために年齢ごとに予約を受けており、近々で言いますと 8/2 から 40～49 歳の皆さんの接種予約も始まりますので、こうした起点、起点にあわせてしっかりとした接種の見直しをしながら、できるだけ影響が市民の皆さんに及ばないようにワクチン対策室からご案内しております。供給量に見合った接種計画を都度提示してご案内しているという風にご理解をお願いします。

○通学路について

(記者) 千葉県で起こった痛ましい通学路での事故を受けて、諏訪市としての対応は。

(市長) 大変痛ましい事故で胸を痛めております。諏訪市といたしましても通学路の整備に関しましては地域からいくつかのご要望をいただいております。国全体といたしましても通学路に関しての意識や対応についてしっかりするようにと通達もありますので、注意を向けて整備が進むように対応してまいりたいと思います。また、県道の整備等もしっかりとお願いをしてまいります。意識していきたいと思っています。

(記者) 来年度から予算を重点配分するなど何かしらの対応はあるか。

(市長) 現場の建設部にはたくさんのご要望をいただいております。優先順位など調整をしながら予算付けは決まっておりますけれども、通学路のことは意識して対応してまいりたいと思っております。

○7月20日の匿名寄付（義援金）について

（記者）先日の匿名の寄付のご厚意に対する市長の思いは。

（市長）大変ありがたいご寄付をいただきました。災害に対する義援金ということでございます。昨今、自然災害も激甚化をしております、また、こうしたコロナ禍において、諏訪管内の消防からも伊豆の土石流の応援隊が昨日戻ってきましたけれども、大変苦労しながら全国の皆さんが対応している中で、そうした篤志家の方がおられるということは、大変心温まる、また取り組んでおられる皆さんにとっても励みになるニュースであると思います。匿名をご希望されていらっしゃることも尊重させていただいておりますが、この場をお借りして私からも心から感謝の意を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。